

SUSPON シンポジウム
スポーツを通じた持続可能な社会づくりへの挑戦
～2020年オリンピック・パラリンピックを越えて～
2017年2月16日(木) 13:00～16:30 @日比谷図書文化館ホール

世界最大のスポーツイベントであるオリンピック・パラリンピックでは、「サステナビリティ」がキーワードの一つに掲げられ、東京2020大会は日本、そして世界の持続可能な社会づくりにつなげていく「きっかけ」とすることが期待されています。

本シンポジウムでは、東京2020大会における持続可能性実現に向けた課題を、企業やNGO/NPOで共有し、双方の連携を視野に入れた解決策を議論します。

プログラム

司会：星野 智子 (SUSPON 副代表/環境パートナーシップ会議:EPC)

13:00 **開会挨拶** 羽仁 カンタ (SUSPON 代表/iPledge)

講演「ロンドン・リオ視察から見た東京大会への提言」

崎田 裕子 (持続可能な社会をつくる元気ネット理事長
/東京オリンピック・パラリンピック2020競技大会組織委員会街づくり・持続可能性委員)

13:40 **2020年に向けたSUSPON部会からの提言**

- ◇ごみゼロ(廃棄物): 天野 路子 (地球・人間環境フォーラム)、濱中 聡史 (iPledge)
- ◇責任ある調達: 三柴 淳一 (FoE Japan)
- ◇生物多様性: 葉山 政治 (日本野鳥の会)
- ◇エネルギー: 長谷川 淳子 (グリーン購入ネットワーク:GPN)
- ◇まとめ: 星野 智子 (環境パートナーシップ会議:EPC)

14:30 — 休憩 — ※質問票を回収いたします。

14:45 **パネルディスカッション「東京2020大会で実現する持続可能な社会」**

モデレータ:

羽仁 カンタ (iPledge)

パネリスト:

田中 丈夫 (東京オリンピック・パラリンピック2020競技大会組織委員会大会準備運営第一局持続可能性部長)

臼井 万寿雄 (東京都オリンピック・パラリンピック準備局大会施設部施設調整担当課長)

崎田 裕子 (持続可能な社会をつくる元気ネット)

天野 路子 (地球・人間環境フォーラム)

三柴 淳一 (FoE Japan)

葉山 政治 (日本野鳥の会)

16:30 **閉会**

●お問い合わせ

地球・人間環境フォーラム内 SUSPON事務局 担当:坂本、天野、齋藤

Email: contact@suspon.net TEL: 03-5825-9735 (代表)

SUSPON シンポジウム web ページ >> http://suspon.net/ev_170216sympo/

YouTube チャンネル >> <https://www.youtube.com/channel/UCbNwDN-5PPtDVnHnO2ymV4g> ※本シンポジウム動画配信予定

登壇者プロフィール（敬称略）

田中 丈夫 東京オリンピック・パラリンピック 2020 競技大会組織委員会大会準備運営第一局持続可能性部長

2015年4月、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会持続可能性部長に着任。IOC 持続可能性とレガシー委員会委員、JOC スポーツ環境部会委員。

臼井 万寿雄 東京都 オリンピック・パラリンピック準備局大会施設部施設調整担当課長

平成10年4月 東京都入都。平成28年4月 東京都オリンピック・パラリンピック準備局大会施設部施設調整担当課長着任。現在に至る。

崎田 裕子 NPO 法人持続可能な社会をつくる元気ネット理事長／ジャーナリスト・環境カウンセラー

立教大学社会学部卒。出版社勤務を経てフリーに。暮らし・地域の視点から持続可能なまちづくりに取り組む。早稲田大学招聘研究員。東京2020競技大会組織委員会「街づくり・持続可能性委員会」委員。元気ネット共著「みんなで創るオリンピック・パラリンピック」(2015 環境新聞社)

天野 路子 地球・人間環境フォーラム

2005年より地球・人間環境フォーラム研究員。全国45のNPO、企業が参加するリユース食器ネットワークの事務局を担当。リユース食器の普及啓発に取り組んでいる。

濱中 聡史 NPO 法人 iPledge (アイプレッジ)

A SEED JAPAN の職員を経て、2014年よりNPO iPledge の事務局長に就任。数多くの野外イベントに対しリユース食器の導入を提案し、運営を担っている。

三柴 淳一 国際環境 NGO FoE Japan (エフ・オー・イー・ジャパン) 副代表理事／事務局長

2004年からFoE Japanのスタッフ、2011年より現職。木材消費国の違法伐採対策として、日本市場における木材生産地の環境・社会に配慮した木材“フェアウッド”の調達推進や普及啓発活動に取り組む。

葉山 政治 日本野鳥の会

石川県、兵庫県、北海道で日本野鳥の会の現場勤務を経て、自然保護室勤務。各地の保護問題のサポートや全国的な調査のコーディネイター、政策提言などに従事。

長谷川 淳子 グリーン購入ネットワーク(GPN)

国際業務に従事し、海外のグリーン公共調達や持続可能な公共調達に精通している。グリーン購入ネットワーク(GPN)では、2015年度から「電力のグリーン購入」解説書を作成し、電力供給事業者のデータベースを構築し、電力のグリーン購入の普及に取り組んでいる。

羽仁 カンタ NPO 法人 iPledge (アイプレッジ) 代表／SUSPON 代表／A SEED JAPAN 創設者

国際青年環境 NGO「A SEED JAPAN」を1991年設立、代表を務め2014年まで理事。2014年1月にNPO iPledge を立ち上げ代表理事に就任。若者の本気を引き出す持続可能な未来を創るプロジェクトを多数展開し、誰もが対等な、参加型市民社会の創造を目指して活動している。2014年からオリンピックの環境対策を行う調査を開始し、2016年には「持続可能なスポーツイベントを実現する NGO/NPO 連絡会:SUSPON」を立ち上げ2020東京大会のステークホルダーに積極的な提案を行っている。

星野 智子 環境パートナーシップ会議(EPC)副代表理事／SUSPON 副代表

環境・開発に関する国連サミットやESDや生物多様性、SDGsに関する市民活動の推進に従事、対話の場づくりなどパートナーシップ推進に務めている。(特活)日本NPOセンター、(特活)国際協力NGOセンターの理事や農業体験企画の主宰など市民活動に多く携わっている。
